

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月8日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <https://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 島田 和幸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ財務・経理担当 (氏名) 小峰 雄平 (TEL) 045-226-1200
 定時株主総会開催予定日 2024年6月22日 配当支払開始予定日 2024年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	110,881	7.0	12,570	60.3	12,940	51.2	8,833	77.7
2023年3月期	103,595	△0.4	7,843	△19.7	8,557	△17.7	4,970	△33.0
(注) 包括利益	2024年3月期 8,976百万円 (78.5%)		2023年3月期 5,029百万円 (△33.5%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	73.04	72.77	11.4	12.1	11.3
2023年3月期	41.11	40.95	6.7	8.4	7.6
(参考) 持分法投資損益	2024年3月期 -百万円		2023年3月期 -百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	110,728	80,533	72.2	661.38
2023年3月期	103,944	75,662	72.2	620.72
(参考) 自己資本	2024年3月期 79,996百万円		2023年3月期 75,058百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	11,323	△2,201	△4,249	42,080
2023年3月期	12,952	△1,867	△4,247	37,039

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3期	—	17.00	—	17.00	34.00	4,118	82.9	5.5
2024年3期	—	17.00	—	17.00	34.00	4,119	46.6	5.3
2024年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00		41.2	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,730	3.1	6,590	8.8	6,600	3.7	4,500	4.3	37.20
通期	118,500	6.9	14,500	15.3	14,500	12.0	10,000	13.2	82.68

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	130,353,200株	2023年3月期	130,353,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期	9,399,839株	2023年3月期	9,430,462株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	120,948,177株	2023年3月期	120,905,689株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2024年3月期 206,039株、2023年3月期 209,915株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	92,384	6.3	11,407	42.3	11,136	19.3	6,909	5.9
2023年3月期	86,891	△0.2	8,015	△9.1	9,330	2.6	6,523	6.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	57.13	56.92
2023年3月期	53.96	53.74

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	87,182	61,800	70.3	506.51
2023年3月期	83,191	58,997	70.2	482.90

(参考) 自己資本 2024年3月期 61,264百万円 2023年3月期 58,393百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については【添付資料】5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(表示方法の変更)	15
(追加情報)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当連結会計年度の概況

当連結会計年度の売上高は、原発処理水の海洋放出により中国において日本製品の買い控え等の影響があったものの、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業の国内が好調に推移し、全体では110,881百万円(前期比7.0%増)となりました。営業利益は、増収により売上総利益が増加したことに加え、広告宣伝費等において効果的な経費の使用に努めたことなどにより、12,570百万円(前期比60.3%増)となりました。経常利益は12,940百万円(前期比51.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は8,833百万円(前期比77.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②事業別の状況

1)化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、61,206百万円(前期比6.5%増)となりました。

	2023年3月期		2024年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	42,102	73.3	44,648	73.0	6.0
アテニア化粧品	13,447	23.4	15,193	24.8	13.0
boscia(ボウシヤ)	783	1.4	637	1.0	△18.6
その他	1,114	1.9	727	1.2	△34.8
合計	57,448	100.0	61,206	100.0	6.5

	2023年3月期		2024年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	31,404	54.7	33,554	54.8	6.8
店舗販売	11,825	20.6	12,783	20.9	8.1
卸販売他	8,800	15.3	9,179	15.0	4.3
海外	5,417	9.4	5,689	9.3	5.0
合計	57,448	100.0	61,206	100.0	6.5

ファンケル化粧品は、2023年4月に発売した「マイルドクレンジングオイル<ブラック&スムーズ>」に加え、メイクやスペシャルケア製品などが好調に推移したことにより、44,648百万円(前期比6.0%増)となりました。

アテニア化粧品は、2023年11月にリニューアルした「スキんクリア クレンジング オイル」が好調だったことに加え、外部通販の伸長により、15,193百万円(前期比13.0%増)となりました。

boscia(ボウシヤ)は、リアル店舗向けの卸販売が振るわず、637百万円(前期比18.6%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は33,554百万円(前期比6.8%増)、店舗販売は12,783百万円(前期比8.1%増)、卸販売他は9,179百万円(前期比4.3%増)、海外は5,689百万円(前期比5.0%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収により売上総利益が増加したことに加え、広告宣伝費等において効果的な経費の使用に努めたことなどにより、営業利益は8,466百万円(前期比43.4%増)となりました。

2) 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、43,723百万円(前期比9.7%増)となりました。

	2023年3月期		2024年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	18,176	45.6	19,041	43.6	4.8
店舗販売	5,828	14.6	7,404	16.9	27.0
卸販売他	11,541	28.9	12,514	28.6	8.4
海外	4,325	10.9	4,761	10.9	10.1
合計	39,871	100.0	43,723	100.0	9.7

製品面では、広告を強化した「大人のカロリミット」や、インバウンド需要の回復により「年代別サプリメント」が好調に推移し、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は19,041百万円(前期比4.8%増)、店舗販売は7,404百万円(前期比27.0%増)、卸販売他は12,514百万円(前期比8.4%増)、海外は4,761百万円(前期比10.1%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収により売上総利益が増加したことに加え、広告宣伝費等において効果的な経費の使用に努めたことなどにより、営業利益は5,908百万円(前期比72.3%増)となりました。

3) その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は、5,952百万円(前期比5.2%減)となりました。

	2023年3月期		2024年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,985		1,810		△8.9
青汁	2,005		1,924		△4.0
その他	2,285		2,217		△2.9
合計	6,276		5,952		△5.2

営業損益

損益面では、減収による売上総利益の減少などにより、285百万円の営業損失(前年同期は92百万円の営業利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べて6,784百万円増加し、110,728百万円となりました。この要因は、流動資産の増加8,683百万円および固定資産の減少1,899百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加5,040百万円および売掛金の増加2,577百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、減価償却などによる有形固定資産の減少1,675百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,913百万円増加し、30,195百万円となりました。この要因は、流動負債の増加12,176百万円および固定負債の減少10,263百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債を固定負債から流動負債へ振り替えたことによる増加10,000百万円および未払法人税等の増加1,055百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、転換社債型新株予約権付社債を流動負債へ振り替えたことなどによる減少10,050百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,870百万円増加し、80,533百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金の増加8,833百万円および配当金の支払いによる利益剰余金の減少4,119百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末同様の72.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は42,080百万円となり、前連結会計年度末より5,040百万円増加いたしました。

当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は11,323百万円(前連結会計年度は12,952百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前当期純利益12,814百万円および減価償却費4,032百万円などによる増加と、法人税等の支払額3,188百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,201百万円(前連結会計年度は1,867百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出1,620百万円および無形固定資産の取得による支出816百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4,249百万円(前連結会計年度は4,247百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額4,113百万円などによる減少であります。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境を展望すると、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の急騰などは正常化しつつありますが、世界各国で物価が高騰しており消費の動向については注視が必要な状況です。一方、日本国内の経済環境は、物価高騰の影響を受けるものの、経済政策や賃金の上昇などの効果もあり、個人消費は増加すると想定しています。また、訪日客の増加に加え円安によるインバウンド消費の回復にも期待が持てます。このような状況の中、ファンケルグループは、2025年3月期を初年度とする中期経営計画の方針のもと、国内事業の収益基盤の強化に加え、海外事業の拡大を推進してまいります。

化粧品関連事業は、ファンケル化粧品にて2024年4月に新発売した無添加スキンケアシリーズ「トイロ<医薬部外品>」や、主力製品の「マイルドクレンジング オイル」シリーズを中心にマーケティング投資を行い新規の顧客獲得を目指します。アテニア化粧品は、2024年3月に新発売した「ドレススノー フェイシャルウォッシュ」や、基礎スキンケアライン「プリマモイスト」のリニューアルにより売上拡大を図ります。海外においては、中国越境ECの継続的な成長に加え、一般貿易販売を開始いたします。また、中国以外のASEANにも積極的に展開いたします。

栄養補助食品関連事業は、引き続きスター製品である「カロリミットシリーズ」、「内脂サポート」および「えんきん」などを育成するとともに、女性カテゴリ、プレシニアカテゴリを強化し、売上拡大を図ります。海外は、「体内効率」を継続して訴求し、SNSやECモール内でのコミュニケーションを強化し、ブランディング・商品育成を図ります。

これらの状況をふまえ、2025年3月期の業績につきましては、売上高118,500百万円(前期比6.9%増)、営業利益14,500百万円(前期比15.3%増)、経常利益14,500百万円(前期比12.0%増)、親会社に帰属する当期純利益10,000百万円(前期比13.2%増)と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

ファンケルグループは、連結財務諸表の期間比較可能性を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,039	42,080
受取手形	6	14
売掛金	11,673	14,251
商品及び製品	5,999	6,989
原材料及び貯蔵品	5,532	5,859
その他	1,801	1,545
貸倒引当金	△91	△94
流動資産合計	61,962	70,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,216	34,327
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,695	△20,355
建物及び構築物（純額）	14,520	13,972
機械装置及び運搬具	16,928	17,285
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,815	△12,966
機械装置及び運搬具（純額）	5,113	4,319
工具、器具及び備品	9,889	9,344
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,677	△8,177
工具、器具及び備品（純額）	1,211	1,167
土地	13,914	13,897
リース資産	317	241
減価償却累計額及び減損損失累計額	△173	△147
リース資産（純額）	144	94
その他	124	138
減価償却累計額及び減損損失累計額	△34	△76
その他（純額）	89	61
建設仮勘定	219	25
有形固定資産合計	35,213	33,537
無形固定資産		
その他	2,485	2,430
無形固定資産合計	2,485	2,430
投資その他の資産		
投資有価証券	125	125
長期貸付金	100	50
繰延税金資産	2,642	2,786
その他	1,466	1,180
貸倒引当金	△51	△26
投資その他の資産合計	4,283	4,115
固定資産合計	41,982	40,083
資産合計	103,944	110,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,378	3,881
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	-	10,000
リース債務	116	117
未払金	4,127	4,412
未払法人税等	1,918	2,973
契約負債	3,002	2,956
賞与引当金	1,223	1,381
その他	2,326	2,547
流動負債合計	16,092	28,269
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,050	-
リース債務	135	51
役員株式給付引当金	259	356
退職給付に係る負債	1,223	1,066
資産除去債務	448	415
その他	72	34
固定負債合計	12,189	1,926
負債合計	28,282	30,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	12,189	12,170
利益剰余金	71,623	76,337
自己株式	△19,479	△19,379
株主資本合計	75,128	79,923
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	242	206
退職給付に係る調整累計額	△312	△134
その他の包括利益累計額合計	△70	72
新株予約権	603	536
純資産合計	75,662	80,533
負債純資産合計	103,944	110,728

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	103,595	110,881
売上原価	34,382	36,692
売上総利益	69,213	74,189
販売費及び一般管理費		
販売促進費	6,887	7,424
荷造運搬費	5,478	5,694
広告宣伝費	14,868	13,219
販売手数料	3,111	3,439
業務委託費	5,413	6,167
通信費	1,711	1,773
役員報酬	415	411
給料及び手当	11,016	11,007
賞与引当金繰入額	1,027	1,179
役員株式給付引当金繰入額	156	110
退職給付費用	525	584
法定福利費	1,750	1,745
福利厚生費	276	290
減価償却費	2,612	2,320
研究開発費	1,225	1,212
賃借料	1,172	1,070
貸倒引当金繰入額	28	24
その他	3,692	3,940
販売費及び一般管理費合計	61,370	61,618
営業利益	7,843	12,570
営業外収益		
受取利息	51	52
受取配当金	0	0
為替差益	509	110
受取賃貸料	119	125
受取補償金	17	30
受取事務手数料	28	31
雑収入	112	80
営業外収益合計	839	432
営業外費用		
支払利息	0	-
固定資産賃貸費用	8	8
譲渡制限付株式関連費用	24	30
貸倒引当金繰入額	50	-
雑損失	43	22
営業外費用合計	126	62
経常利益	8,557	12,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	5
新株予約権戻入益	7	-
特別利益合計	7	5
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	70	78
減損損失	204	22
店舗閉鎖損失	74	22
その他	-	8
特別損失合計	350	131
税金等調整前当期純利益	8,214	12,814
法人税、住民税及び事業税	3,186	4,202
法人税等調整額	57	△222
法人税等合計	3,244	3,980
当期純利益	4,970	8,833
親会社株主に帰属する当期純利益	4,970	8,833

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	4,970	8,833
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	141	△35
退職給付に係る調整額	△83	177
その他の包括利益合計	58	142
包括利益	5,029	8,976
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,029	8,976
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,795	12,003	70,766	△20,003	73,561
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△4,114	-	△4,114
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	4,970	-	4,970
自己株式の取得	-	-	-	△0	△0
自己株式の処分	-	186	-	525	712
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	186	856	524	1,567
当期末残高	10,795	12,189	71,623	△19,479	75,128

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	100	△228	△128	640	74,073
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	△4,114
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	4,970
自己株式の取得	-	-	-	-	△0
自己株式の処分	-	-	-	-	712
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	141	△83	58	△36	21
当期変動額合計	141	△83	58	△36	1,589
当期末残高	242	△312	△70	603	75,662

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,795	12,189	71,623	△19,479	75,128
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△4,119	-	△4,119
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	8,833	-	8,833
自己株式の取得	-	-	-	△0	△0
自己株式の処分	-	△19	-	99	80
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	△19	4,714	99	4,794
当期末残高	10,795	12,170	76,337	△19,379	79,923

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	242	△312	△70	603	75,662
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	△4,119
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	8,833
自己株式の取得	-	-	-	-	△0
自己株式の処分	-	-	-	-	80
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△35	177	142	△66	75
当期変動額合計	△35	177	142	△66	4,870
当期末残高	206	△134	72	536	80,533

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,214	12,814
減価償却費	4,377	4,032
減損損失	204	22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	158
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	156	110
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	222	99
受取利息及び受取配当金	△51	△53
支払利息及び社債利息	0	-
為替差損益 (△は益)	△25	△155
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△5
固定資産除却損	70	78
店舗閉鎖損失	74	22
売上債権の増減額 (△は増加)	303	△2,577
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△354	△1,295
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,360	807
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△415	△204
仕入債務の増減額 (△は減少)	△91	498
契約負債の増減額 (△は減少)	540	△45
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	457	483
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	18	△37
その他	438	△222
小計	15,478	14,509
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△0	-
法人税等の支払額	△2,527	△3,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,952	11,323

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,143	△1,620
有形固定資産の売却による収入	0	23
無形固定資産の取得による支出	△882	△816
その他の支出	△131	△62
その他の収入	288	274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,867	△2,201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△4,109	△4,113
その他	△137	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,247	△4,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	93	168
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,931	5,040
現金及び現金同等物の期首残高	30,108	37,039
現金及び現金同等物の期末残高	37,039	42,080

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「販売費及び一般管理費」の「その他」に含めていた「業務委託費」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度において独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「販売費及び一般管理費」の「その他」に表示していた9,105百万円は、「業務委託費」5,413百万円、「その他」3,692百万円として組み替えております。

(追加情報)

(業績連動型株式報酬制度)

ファンケルグループの中期経営計画の実現および企業価値向上に向けて、当社の取締役および執行役員等(社外取締役および国内非居住者を除きます。以下、「当社取締役等」という。)ならびに当社子会社の取締役(社外取締役および国内非居住者を除きます。また、当社取締役等と合わせて、以下、「対象取締役等」という。)の報酬とファンケルグループの業績および株主価値との連動性を明確にすることにより、長期的な業績の向上達成意欲と株主価値の増大への貢献意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度(以下、「本制度」という。)の導入を2021年6月26日開催の第41期定時株主総会において決議しております。

(1) 取引の概要

本制度は、役員報酬B I P (Board Incentive Plan) 信託(以下、「B I P 信託」という。)と称される仕組みを採用しました。B I P 信託とは、役位や業績目標の達成度等に応じて、当社株式および当社株式の換価処分金相当額の金銭を対象取締役等に交付および給付します。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除きます。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度末728百万円および209,915株、当連結会計年度末714百万円および206,039株であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、ファンケルグループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

ファンケルグループは、化粧品および栄養補助食品の製造販売を主とした多岐にわたる事業を営んでおります。当社および当社の連結子会社には、単一製品の製造に従事する会社だけでなく複数製品の製造販売を営んでいる会社もあり、ファンケルグループとしては取り扱う製品ごとに国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、ファンケルグループは取り扱う製品を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「化粧品関連事業」、「栄養補助食品関連事業」および「その他関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

「化粧品関連事業」は、化粧品の製造販売およびOEM供給を行っております。

「栄養補助食品関連事業」は、栄養補助食品の製造販売を行っております。

「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書（2023年6月26日提出）により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	57,448	39,871	6,276	103,595	-	103,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	57,448	39,871	6,276	103,595	-	103,595
セグメント利益	5,905	3,429	92	9,427	△1,584	7,843
セグメント資産	38,168	28,923	4,445	71,536	32,407	103,944
その他の項目						
減価償却費	2,098	1,960	247	4,306	68	4,377
減損損失	152	49	3	204	-	204
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	1,099	888	153	2,141	51	2,192

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,584百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額32,407百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の「現金及び預金」、「土地」および「建物」であります。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	61,206	43,723	5,952	110,881	-	110,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	61,206	43,723	5,952	110,881	-	110,881
セグメント利益又は損失(△)	8,466	5,908	△285	14,089	△1,518	12,570
セグメント資産	39,758	30,737	4,039	74,535	36,193	110,728
その他の項目						
減価償却費	1,953	1,795	212	3,961	71	4,032
減損損失	16	6	0	22	-	22
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	1,299	963	120	2,383	60	2,443

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,518百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額36,193百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の「現金及び預金」、「土地」および「建物」であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	620円72銭	661円38銭
1株当たり当期純利益	41円11銭	73円04銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	40円95銭	72円77銭

- (注) 1 役員報酬BIP信託が所有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております。また、1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、控除した当該自己株式の期末株式数は前連結会計年度において209,915株、当連結会計年度において206,039株であり、期中平均株式数は前連結会計年度において210,895株、当連結会計年度において207,048株であります。
- 2 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,970	8,833
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,970	8,833
普通株式の期中平均株式数(株)	120,905,689	120,948,177
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数の主要な内訳(株)		
新株予約権	481,444	444,545
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債 (額面金額10,000百万円 新株予約権1,000個)	2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債 (額面金額10,000百万円 新株予約権1,000個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。